



令和8年度 事業者向け
補助金を使って
太陽光発電を
設置しましょう!
 事業者の脱炭素化を後押しします

太陽光発電のメリット

経済性

- 発電した電気を自家消費することで電気代を削減できます!
- 建物の上に設置すると断熱効果が得られます!

レジリエンス強化

- 停電しても日中は電気が使えます!
- 蓄電池を併せて設置すれば、夜間でも電気が使えます!

企業価値の向上

- 脱炭素に取り組む先進的な企業として、企業価値の向上につながります!

補助金概要 ~ 補助金を活用すると設置費用をより早く回収できます ~

対象者	自家消費型再生可能エネルギー発電設備を設置する事業者 ※FIT・FIPを利用しないことが要件です。
対象設備	①自家消費型再生可能エネルギー発電設備(太陽光、風力、水力、地熱、バイオマス) ②蓄電池(①と併せて設置する場合に限る)
補助額	①自家消費型再生可能エネルギー発電設備 発電出力1kW 当たり8万円を乗じた額 かながわ脱炭素チャレンジャーの場合は、1kW 当たり10万円を乗じた額 ※大企業の場合は、3,000万円が上限です。 ②蓄電池 発電設備と併せて設置する場合は、1kWh 当たり5万円を乗じた額 ※500万円が上限です。
受付期間	令和8年4月30日~令和9年2月26日 ※先着順により受付し、予算額を超えた時点で終了します。
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・国や市町村の補助金と併用できます。 ・太陽光発電は、発電出力10kW 以上であることが要件です。 ・令和9年3月31日までに、設置工事及び支払いが完了することが必要です。



太陽光設置例（A社の場合）

発電出力 100kWの場合

● 県と国の補助金を併用すると 1,300万円

	補助金なし	補助金あり
設置費用	2,490万円	1,190万円
費用回収年数	9年	4.5年

太陽光発電設備の導入により電気代が削減でき、CO₂排出量削減の目標達成にも寄与しています！
また、補助金を活用することで、短期間の投資回収も期待されます。



「太陽光発電導入」に対する支援の流れ

1

まずは、どれくらい設置できるのか調べたい！

太陽光発電設備の導入提案

「建物屋上や敷地内に太陽光をどれくらい設置できるのか知りたい」
「投資回収年数次第では、設置を検討したい」という方は、お申し込みください。

詳しくはこちら



2

設置事業者の検討や比較をしたい！

事業所用太陽光発電の共同購入

「設置事業者を検討したい」「複数社の見積を比較したい」
という方は、お申し込みください。

詳しくはこちら



3

太陽光発電設備の導入が決まった！

自家消費型再生可能エネルギー導入費補助金

詳しくはこちら



窓口のご案内

本補助金に関するお問合せはこちら！

補助金審査事務局

(一財) 省エネルギーセンター

電話 03-5439-9721

事業内容

- 申請方法の案内
- 補助要件に関する相談
- 審査状況の確認

脱炭素全般に関するご相談はこちら！

カーボンニュートラル
ワンストップ相談窓口

(公財) 神奈川産業振興センター

電話 045-633-5002

メール carbon@kipc.or.jp

事業内容

- 脱炭素に関する支援策や補助金の案内
- 設備の導入に係る資金調達方法の相談
- 企業の脱炭素化へのサポート

金融支援をご活用の方ははこちら！

脱炭素(カーボンニュートラル)促進融資

金融相談窓口
神奈川県 産業労働局 金融課

電話 045-210-5695

中小企業者等が再エネ設備等を導入するための資金調達を支援します。
(利率 2.0%以内/年)

県補助金との併用も可能！